

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			平成18年度		根拠法令・例規等	障害者自立支援法
事業開始年度						
総合計画	大項目	基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり		
	中項目	基本施策	01	やさしさあふれるまちづくり		
	小項目	施策	03	障害者(児)福祉		
事務事業名			13	自立支援医療費給付事業		
			問	担当課(室)	社会福祉課	
			合	職・氏名	係長・大道健一	
			先	電話	64-1824	
			このシート作成に要した時間			0.5 時間

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	18歳以上で身体障害者手帳の交付を受けた者で、一定所得未満の更生医療の対象者。
目的(何のために)	障害者に対して医療費を給付することにより、その障害を除去または軽減し、日常生活能力又は職業能力を回復させることを目的とする。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	障害者に対して医療費を給付することにより、その障害を除去または軽減し、日常生活能力又は職業能力を回復させること。

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	更生医療給付事業	対象となる治療に対する医療費の自己負担を軽減する。	◎
	精神通院医療給付事業	精神疾患に関する通院の医療費を軽減する。	◎

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費		4,612	5,682	6,141
	必要人員人件費	千円	0.51人	2,343	0.07人
財源	事業費計		6,955	6,213	7,514
	国県支出金		2,185	2,667	4,414
	受益者負担				
	繰入金債	千円			
	その他()				
	一般財源		4,770	3,546	3,100
	受益者負担比率	%	-	-	-
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	更正医療給付件数	説明	医療費の給付件数		
	結果指標量	件	347	435	479
	対前年比	%	-	125.4%	110.1%
	活動コスト	円	6,955,000	6,213,000	7,515,000
	単位当たりコスト		20,043	14,283	15,689

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
更生医療給付件数	目標値(A)				
	実績値(B)		347	435	479
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
成果指標設定の考え方・式や説明					
申請に基づく事業のため、目標値設定は困難。					

事務事業の評価		妥当性評価 <A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性の必要性		A
	市民ニーズ		
効率性の評価	コスト	A	
	目的達成度	B	

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明		○				
法令に基づき実施しているため、現状継続する。						

総合評価		評価区分 <A~E>	妥当性 A B C D E 有効性 効率性
人工透析治療など医療費の高い治療の自己負担の軽減につながっている。		A	

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
		○				
取組目標	障害者の日常生活の維持や機能の向上に対して必要な事業のため、今後も継続して実施していく。					

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項
事業の目的やその数値の目標値である成果指標を評価する際は、留意事項を参考に評価を行って下さい